

世界の SAF 最新動向と商業化の現実

～原料・規格・認証・技術課題などに焦点を当てて～

— 講師 — 一般財団法人カーボンニュートラル燃料技術センター
製造プロセス技術部 主任研究員 蜂須 栄一 氏

日時 2026年6月12日(金) 午後4時～6時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 紀尾井フォーラム 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

[重点講義内容]

航空分野において CO₂ を初めとした GHG (Greenhouse Gas: 温室効果ガス) の排出削減目標達成のために、持続可能な航空燃料 SAF の利用拡大に向けた積極的な取り組みが世界中で展開されている。

SAF の供給を商業的に成立させるためには、SAF の製造に必要な原料の確保～製造までの工程に加え、品質保証・SAF としての認証制度の制定や、流通に至るまでのサプライチェーンの各工程において解決すべき課題が多数存在する。

本講演では、これらの各種課題のうち、航空機燃料としての規格である ASTM 規格、GHG 削減効果等 SAF の環境性能に関する認証制度を中心に、各種 SAF 原料の賦存量なども含めて最新動向を概説する。

1. SAF の航空機燃料としての規格 (ASTM)
2. SAF 原料の賦存量
3. ICAO CORSIA
4. SAF の環境性能に関する認証制度 (ISCC を中心に)
5. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 蜂須 栄一 (はちす えいいち) 氏

1987年 群馬大学大学院工学研究科化学工学専攻修士課程修了。同年 三菱石油(株)(現、ENEOS(株))入社。中央技術研究所にて化学品、潤滑油、燃料油等の研究開発に従事。1996年 海外事業部。潤滑油・燃料油関連の海外業務に従事。2003～2006年 NEDO 主査。プロジェクト推進並びに IEA (国際エネルギー機関) 等の関連業務を担当。2024年から現職。

